

定住促進協議会の動き



ふるさとライフプロデューサー
泉谷 勝敏 氏

2007年、大阪より移住し、2009年にファイナンシャルプランナー事務所を開業しました。その後、2012年に発足した周防大島町定住促進協議会において、企画立案と、窓口での移住希望者の相談業務を行っています。

町が第一の施策として掲げる定住促進事業に取り組むには、当然ながら私一人の力では何もできません。地域に住むみなさんのお力添えはもちろん、同じ移住者仲間の協力のおかげです。日々みなさまには感謝しております。



大学生の皆さんへ周防大島の定住促進戦略についてお話しされています

人が減れば自治会活動や、消防団、催事など、町はおろか集落活動が維持できなくなりそうです。かと言って誰でも移住させればよいとは思いません。そういった地域の活動に積極的に参加し、この町を大切にしてくれる人を呼び込む必要があります。ですから闇雲に人を増やそうとしてはいけません。町のことに関心のない10人に来てもらうより、私たちが一緒に町を愛し、

つくつていつてくれる1人の方が、将来的に価値があります。何もしなければ消滅する危機感は常に抱いています。しかし、諸先輩方や仲間のおかげで悲壮感を抱くことからやるべきこと、やらなければならぬことを自分の能力以上の力で取り組めます。みなさま、引き続きよろしくお願い申し上げます。



近年、「島暮らし」「田舎暮らし」を希望される方が増えています。周防大島町は、本土と大島大橋で結ばれており、環境の整った島として注目を浴びています。

今まで以上、特に「住」と「職」のサービスを充実させるため、平成24年4月に「周防大島町定住推進協議会」が発足しました。当協議会は、官民が連携・協力して、みなさまに役立つ情報提供するワンストップサービスを掲げています。

また、大島庁舎に定住相談窓口を設置し、みなさまの「島暮らし」を応援しています。

後記

▼「蘭室の友に交わりて麻敵の性と成る。」—蘭室の友(徳の高い人)と交わることで蓬のように曲がった心が素直になる—

「蘭室」とは、香り高い蘭の花のある部屋のこと。この部屋にいと、やがてその香りが身体にまでしみてくることから人格の優れた人と「交わる」とは、現実には、その人の言葉と振る舞いに触れ、人間性の輝きを増長させていくことになる。(松井岑雄) ▼私たち編集委員の任期満了により、最後の「議会だより」の発行になりました。ご愛読ありがとうございました。

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 吉田 芳春 |
| 副委員長 | 濱本 康裕 |
| 委員 | 平川 敏郎 |
| | 田中隆太郎 |
| | 今元 直寛 |
| | 松井 岑雄 |
| | 尾元 武 |